

匠瑳市まち・ひと・しごと創生市民会議
平成29年11月9日(木)

世界に羽ばたけ！匠瑳の植木展開事業



市の木 イヌマキ

匠瑳市産業振興課農政班
木内 将市郎

植木について

- 「生きた芸術品」
 - 単なる樹木でなく、伝統技術を駆使して仕立てられる
 - 千葉県独自の技術
 - 枝を自在に曲げる「くじき技法」
- 豊富な種類と多岐にわたる仕事
 - 300種類以上の樹種を生産
 - 庭園樹、緑化木、鉢植木...
 - 約700戸の植木関連事業者
 - 生産、流通、造園・土木、管理...



日本「有数」の植木のまち

- 歴史

- 明治時代から植木の生産開始⇒規模は小さい
- 大正時代に質の良さが全国的に評価⇒産業化

- 現状

- 栽培面積 約232ha
- 国際的流通
 - ヨーロッパ(ドイツ、イタリア、オランダ...)
 - アジア(中国、台湾、ベトナム...)
 - 千葉県農林水産物輸出の大半を占める
 - 国も強い農業・輸出できる農業として注目

匠瑛の植木の強み①

～植木産地として強い存在感～

- 千葉県は植木で日本一
 - 植木生産額 68億円
 - 植木輸出額 38億円
- 匠瑛市は県内トップクラス
 - 販売金額約24億円(農業総額約128億)
 - 県が認定する銘木・植木職人の過半数が匠瑛市
 - 東京駅にも「匠瑛の植木」



匠瑛の植木の強み②

～国際的な認知度の拡大～

- 国際展示博覧会（オランダ、トルコ等）
 - 日本国代表で参加
- 情報発信
 - 外国人記者を招いたプレスツアー
 - 各国外交官や在外日本大使館を通じたPR
- 輸出の拡大



匠瑛の植木の強み③

～人々の生活に身近な植木～

- 人々の生活に身近な植木
 - マキの生垣「マキベイ」
 - どこまでも続く緑の壁
- 植木まつり
 - 毎年ゴールデンウィークに開催
 - 自慢の植木を展示即売
- 「外からの目」による再発見
 - 外国人バイヤー、観光客...
 - 身近ゆえに、見過ごされた価値に気付く



世界に羽ばたけ！匠瑛の植木展開事業 (平成28年度)

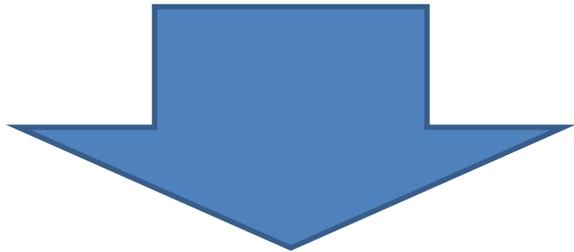


アンタルヤ
国際園芸博覧会

世界に羽ばたけ！匠瑳の植木展開事業 (平成28年度)

- 概要

- 輸出の促進
- 観光資源としての活用(外国人を含む観光誘致)



植木を軸にした産業・観光の振興の
一体的推進

- 目的

- 「匠瑳の植木」の認知度向上や販売拡大
- 外国人を含む交流人口の増加

事業内容

- ① 国際園芸博覧会参加による国際PR活動
 - －トルコ共和国アンタルヤで国外向けPRを実施

- ② 外国人向け植木ガイドブックの作成
 - －英語・中国語表記の植木ガイドブック作成

- ③ 市内観光スポットに植木見本園を整備
 - －情報発信やまち歩きの出発点とする

①国際園芸博覧会参加による 国際PR活動

- 概要

- トルコ共和国アンタルヤで開催された国際園芸博覧会へ参加

- 開催期間6か月間の来場客数見込みは600万人（うち、トルコ国民200万人、外国人400万人）

- 効果

- 輸出先の新規開拓として有望視される、トルコ及び周辺国（中東方面）に効果的なPRが可能である

国際園芸博覧会参加



国際園芸博覧会参加

- 平成28年6月29日から7月5日まで展示
 - 市内生産者7名が参加
 - 植木を輸送・展示し、デモンストレーションを実施



②外国人向け植木ガイドブック作成

- 概要

- 外国人バイヤー・観光客をターゲットとした英語・中国語表記の植木ガイドブック作成

- 平成22年度、植木ガイドブック(英語・中国語付き)を作成
⇒商談や観光に活用できる、多言語ガイドブックが無い

- 効果

- 国内外の外国人バイヤー・観光客に対して有効にPRが行える

③市内観光スポットの 植木見本園整備

- 概要

- 「そうさ観光物産センター・匠りの里」に植木の見本園を整備し、情報発信やまち歩きの出点とする

- 効果

- 観光スポットに見本園を整備し、PR・観光コンテンツの出点とすることで、植木のまちのイメージを醸成でき、更なる観光客等の誘致が可能となる

植木見本園



ふるさと名物応援宣言 (平成28年12月)

- 地域資源の活用を自治体が応援宣言
 - 各種補助制度の活用
 - 行政、事業者等が
ビジョンを共有

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



わが市町村の
ふるさと名物は
これ!

ふるさと名物
Furusato Meibutsu

そうさ
千葉県匠瑤市
が応援するふるさと名物

匠瑤の植木
～明治から続く伝統の結晶～
千葉県匠瑤市
産業振興課 0479-73-0089



産地分析の実施 (平成29年度)

- 植木に関して、詳細な統計等が存在しない
 - 多岐にわたる植木産業
 - JA等の生産・出荷を管理把握する団体が無い
 - 公的資料が少なく、具体的なデータや全体像の把握が困難
- 関係機関と連携した分析
 - 県産業振興課、県産業振興センター
 - 生産規模や経営類型の分類・把握
 - 生産、流通構造、輸出の実態を解明
 - 得られた知見をフィードバックし事業展開